

# 「関西文化学術研究都市の明日に向けて」

- 世界にひらかれた 魅力あふれる創造都市 けいはんな -

## 提 言 (案) 参考資料

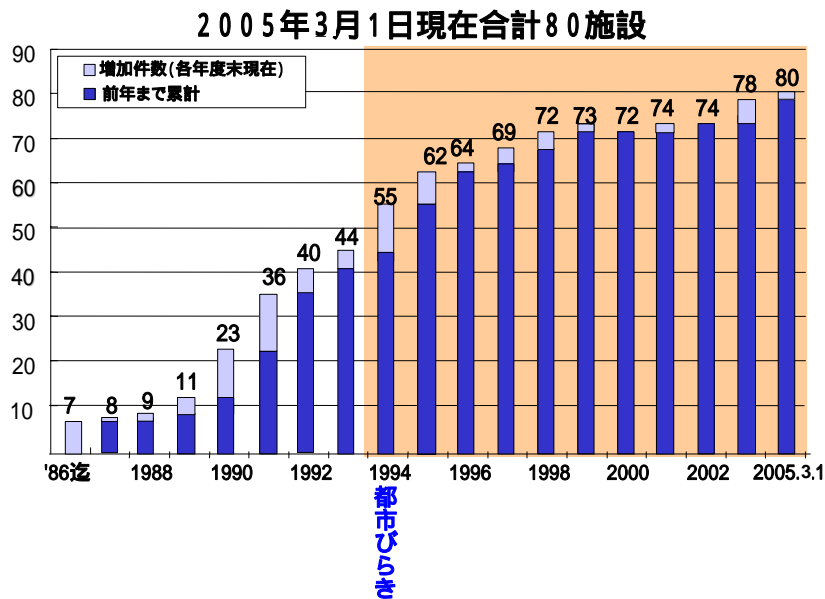
関西文化学術研究都市の明日を考える懇談会

# 都市びらきから10年の集積を活かし、新たな展開へ

文化学術研究地区の立地施設は80施設、学研都市の人口は約7万人に達するなど、着実に都市としての集積が進展

セカンド・ステージ・プラン策定から、9年が経過し、学研都市をめぐる社会経済状況は大きく変化

セカンド・ステージ・プラン以降の学研都市の目指すべき方向を明らかにするため、平成16年9月に「関西文化学術研究都市の明日を考える懇談会」(以下、「懇談会」という。)を設置



## <人口>

	計画(万人)	H16.4.1現在(万人)	進捗率
文化学術研究地区	21	7.2	34%
周辺地区	20	15.0	75%
学研都市計	41	22.1	54%

## <文化学術研究地区の建設状況(事業着手面積)>

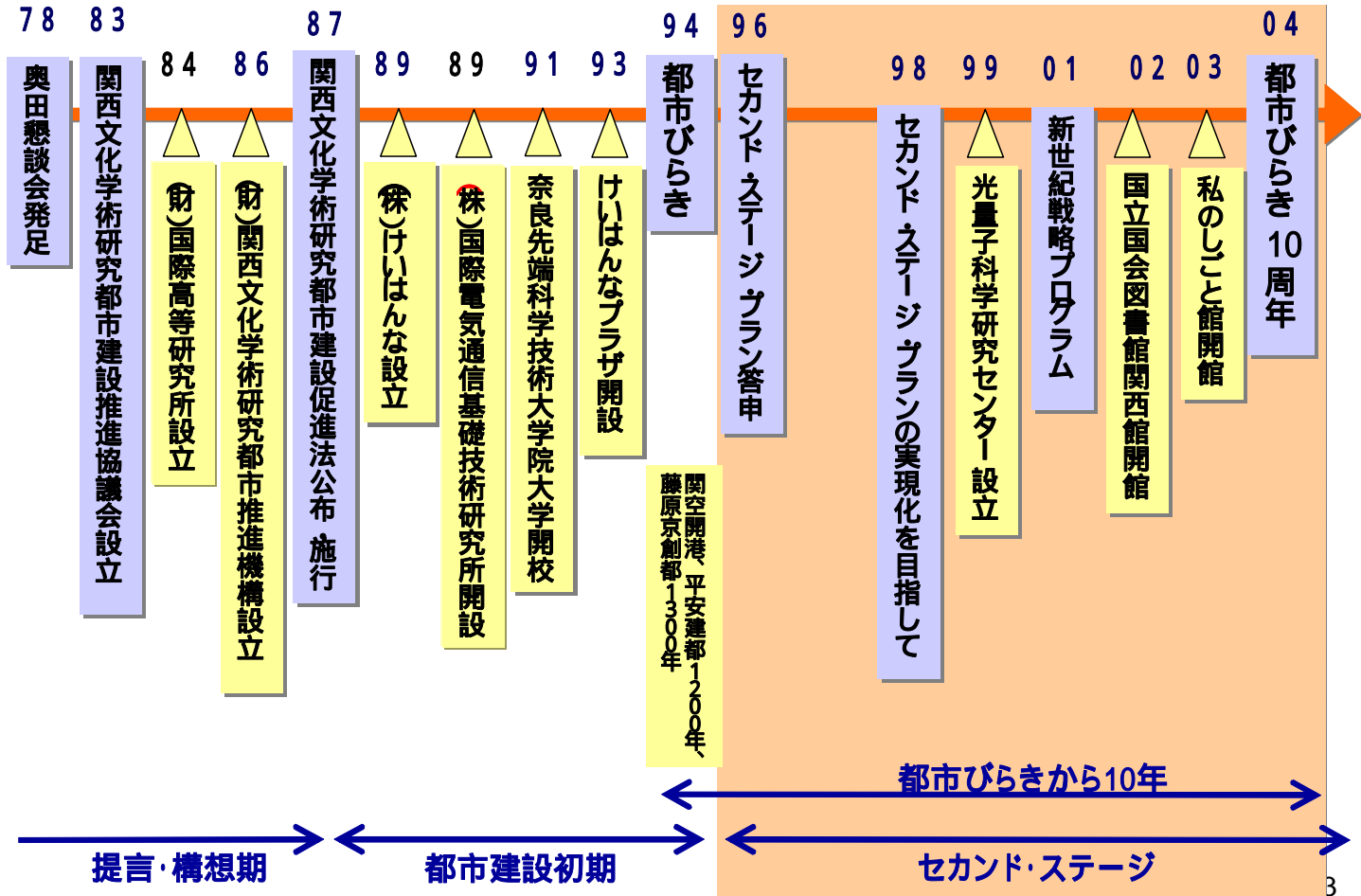
	計画(ha)	H16.4.1現在(ha)	進捗率
文化学術研究地区	3,600	2,364	66%

## <文化学術研究施設用地における立地状況(立地施設敷地面積)>

	計画(ha) 注	H16.4.1現在(ha)	進捗率
文化学術研究施設用地	909.1	320.0	35%

注 施設立地面積及び事業計画上の面積

# 学研都市の経緯



# 現状の課題・新たな時代変化

## 学研都市における現状の課題

学研都市としての文化学術研究  
機関の総合力の発揮が不十分

都市の賑わいや利便性の不足

クラスター(地区)開発の遅れ、多くの  
低未利用地の存在

交通基盤整備の課題

## 踏まえるべき新たな時代変化に伴う 課題

研究開発に求められる機能の変化、新産業  
の創出に向けた課題

・基礎研究と市場の接近 新産業を担う中小・ベンチャー  
の支援育成、立地機関相互の連携促進、総合力の強化

新たな文化の広がり、ライフスタイルの多様化

・文化の認識の広がり、コンテンツ等の海外での高評価、  
地域に密着した文化活動の展開 新たな産業文化や  
生活文化を含めた幅広い文化へのとりくみが必要

国際化の著しい進展に伴う学術研究都市の  
課題

・国際協力・協調、競争力強化の必要性 戦略的な国際  
連携を推進していく体制の確立、外国人の受入れ環境  
の充実

新たな都市の運営にかかわる課題

・施設集積、都市形成の進展 都市としての一体感の醸  
成など新たな都市運営課題への対応

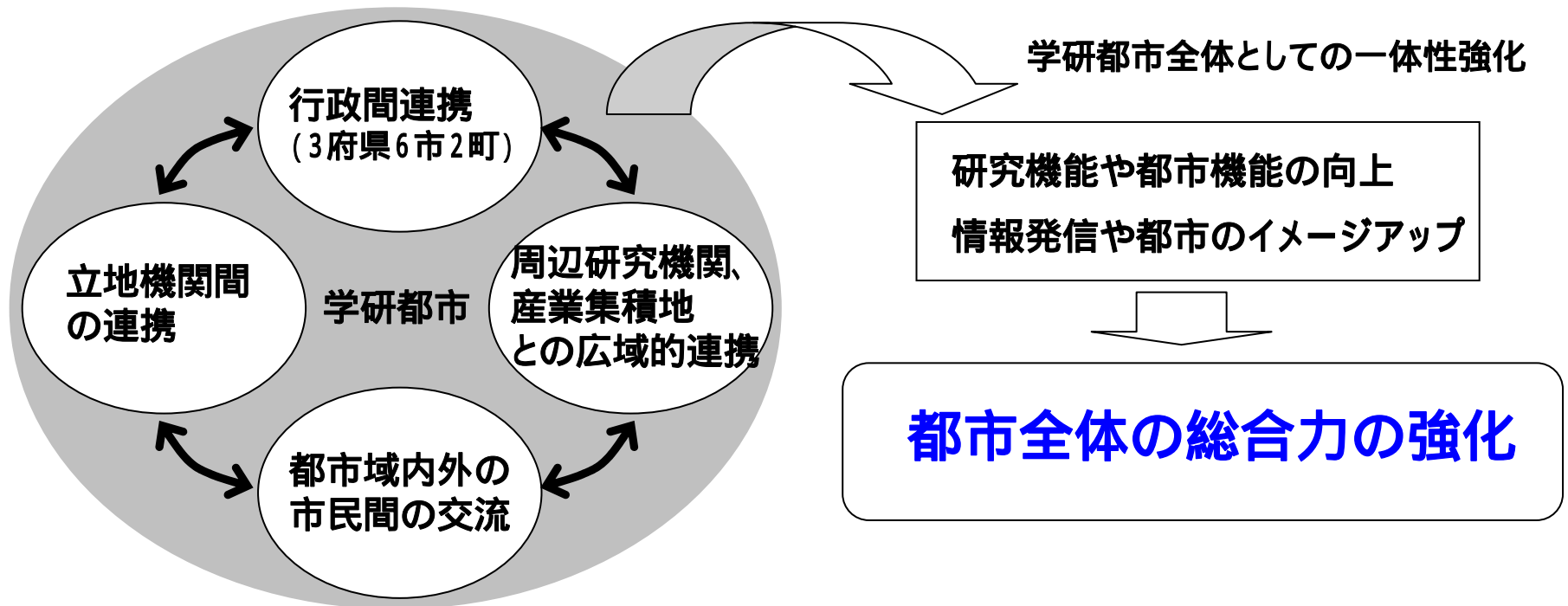
## これからの学研都市の取り組みの方向

- (1) 学研都市としての総合力の強化、新たな学術研究の推進
- (2) 学術研究機能と生産機能の一体化、産学官連携の一層の推進
- (3) 学研都市発の新たな文化の創造
- (4) より世界に開かれた国際的な都市への展開
- (5) 多彩で魅力的な創造都市の形成
- (6) 学研都市の活動を支える基盤整備のスピードアップ
- (7) 本格的な都市活動を支える「都市の運営」の展開

## (1) 学研都市としての総合力の強化、新たな学術研究の推進

### 学研都市全体の一体性の確立、総合力の強化

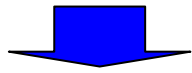
- ・行政間の連携、立地機関・周辺の研究機関・産業集積地との交流連携、市民交流の促進
- ・学研都市全体としての一体性向上による研究機能等の向上、都市全体の総合力の強化



# (1) 学研都市としての総合力の強化、新たな学術研究の推進

## 近畿圏における研究開発プロジェクトの推進

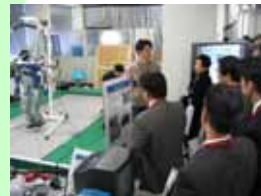
・情報通信、物質・光量子、バイオ、ロボット、環境等の分野における高度な研究機関の集積と先進的な研究の進展



・近畿圏の各研究機関、産業集積地との緊密な連携による**近畿圏の経済再生、都市再生**

### 学研都市における主要なロボット開発研究拠点

- ・**(株)国際電気通信基礎研究所(ATR)**  
知能ロボティクス研究所で、日常生活型コミュニケーション・ロボット開発に取り組む。
- ・**奈良先端科学技術大学院大学**  
情報科学研究科で、ロボティクス、知能情報処理学、論理生命学、知能情報学等多様なロボット研究に取り組む。
- ・**独立行政法人 情報通信研究機構(NICT)**  
けいはんな情報通信融合研究センターで、学習型の赤ちゃんロボットインファノイド研究等に取り組む。
- ・**同志社大学**  
工学部・工学研究科でロボット研究に取り組む。



大阪圏における生活支援ロボット産業拠点の形成

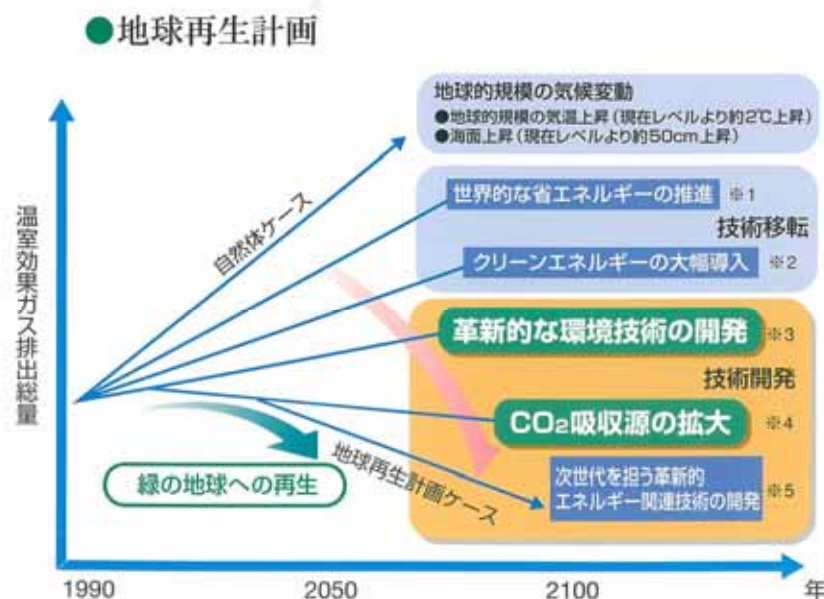


大阪圏におけるライフサイエンスの国際拠点形成

## (1) 学研都市としての総合力の強化、新たな学術研究の推進

### 持続可能な社会の実現に向けた新たな研究分野への積極的な取り組みと独創的な研究の育成

- ・環境問題、食料問題、エネルギー問題など解決へ向けた学術研究の推進
- ・(財)国際高等研究所、(財)地球環境産業技術研究機構等の多様な知の集積を活用
- ・独創的な研究を生み育てる自由で創造的な雰囲気の醸成



(財)地球環境産業技術研究機構における持続可能な社会へ向けた取り組み

### (財)国際高等研究所の研究事業

科学の文化的規定  
環境と食料生産の調和に関する研究  
高度情報化社会の未来学  
人類の自己家畜化現象と現代文明  
東南アジアにおける地球環境変動に関する国際共同研究の態勢等  
(一部抜粋)

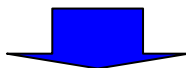
(財)国際高等研究所の取り組み



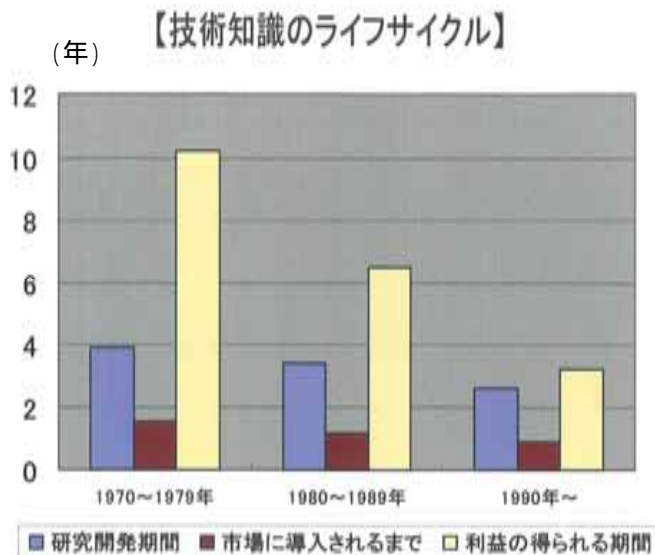
## (2) 学術研究機能と生産機能の一体化、産学官連携の一層の推進

### 文化学術研究施設及び研究開発型産業施設・生産施設の立地促進

- ・基礎研究から応用・実用研究まで同時並行的に進行
- ・基礎研究においても試作・生産機能が必要



- ・クラスター(地区)内のゾーン特性に応じ、従来の文化学術研究施設に加え、試作・生産機能を有する研究開発型産業施設・生産施設の立地促進、誘致活動の展開が必要



(出典)「研究開発関連政策が及ぼす経済効果の定量的評価方法に関する調査」(中間報告)、平成11年6月、科学技術政策研究所

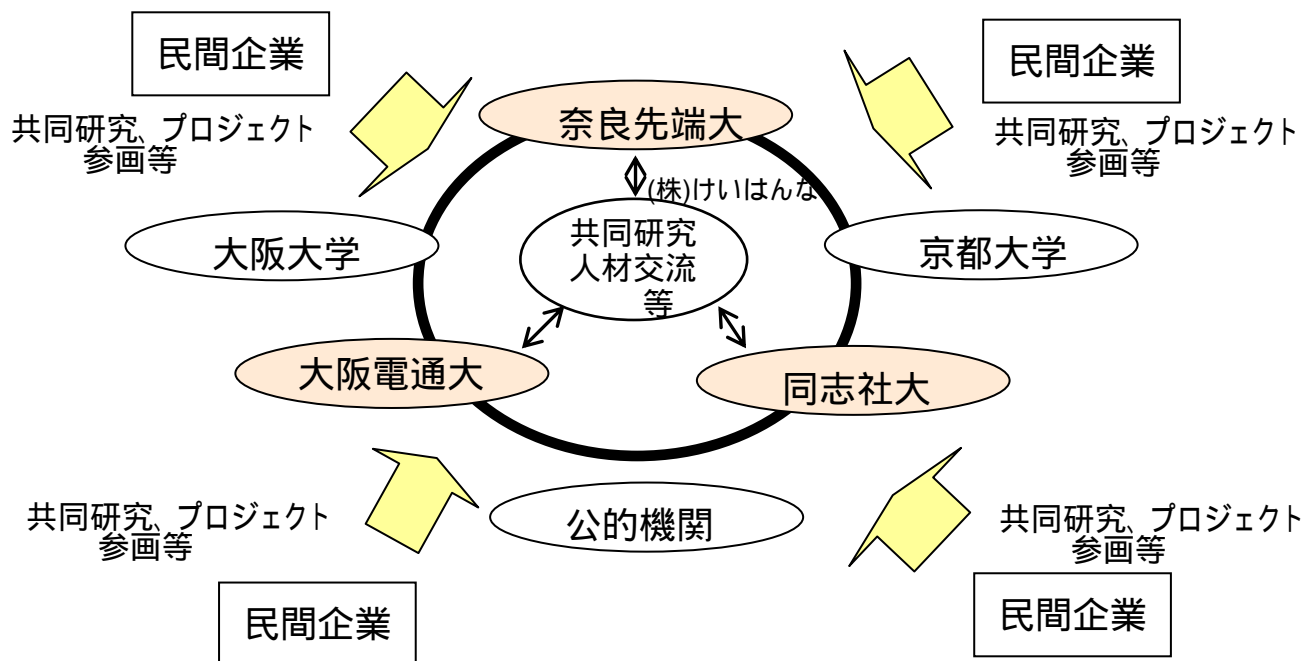
最近の研究開発の特徴は、『産業化を目指す研究開発において、基礎研究から応用研究へ、応用研究から実用化研究へと段階的に進むというより、基礎研究、応用研究、実用化研究が相互に連携しつつ同時並行的に進められることが多くなっている』

(第19回総合科学技術会議資料「産学官連携の基本的考え方と推進方策(案)」)

## (2) 学術研究機能と生産機能の一体化、産学官連携の一層の推進

### 大学間のネットワークを核とした産学官連携の強化

- ・世界の学術研究都市では、大学の技術シーズの活用、企業との共同研究、起業化に係わる人材や法律面、経営面でのサポートなど、産学官連携の核として大学は求心的な役割
- ・奈良先端科学技術大学院大学や同志社大学等を中心とした、都市内外の大学間のネットワークによる産学官連携の強化



大学間のネットワークを核とした産学連携(提案)



同志社大学における産学官交流会



奈良先端科学技術大学院大学と東大阪市の産学官交流会

## (2) 学術研究機能と生産機能の一体化、産学官連携の一層の推進

### 産学官連携を促進するため、学研都市の情報交流機能などの強化

- ・「知的クラスター創成事業」による産学官連携の継承発展
- ・(株)けいはんなにおける情報提供機能、企画調整コーディネート機能を備えた連携窓口、施設の共同利用や知的財産の管理運営に対応する組織・人材の強化
- ・さらに、交流機能の強化に向け、研究情報のデータベース化、各種交流会の充実、産業界に向けたワンストップサービスなどの充実に努める。

#### 研究分野

ライフサイエンス:ゲノミクス解析、植物バイオ医療用材料等

ネオカデン・ラーニング:快適生活を実現するマンマシン・インターフェイス技術、健康・福祉工学、体験・学習支援技術等

(件)

領域	特許	技術移転	商品化	ベンチャー設立	公的プロジェクト
	25	4	1	3	5
	84	6	3	3	9

知的クラスター創成事業の成果(H16年11月時点)

- ・東大阪市との産学官交流会
- ・八尾市との産学官交流会
- ・京都府・奈良県との産学交流会
- ・関経連との産学連携フォーラム
- ・関西文化学術研究都市出張ゼミナール 等

周辺地域との産学官交流会等の実施



TBI技術経営セミナーの開催

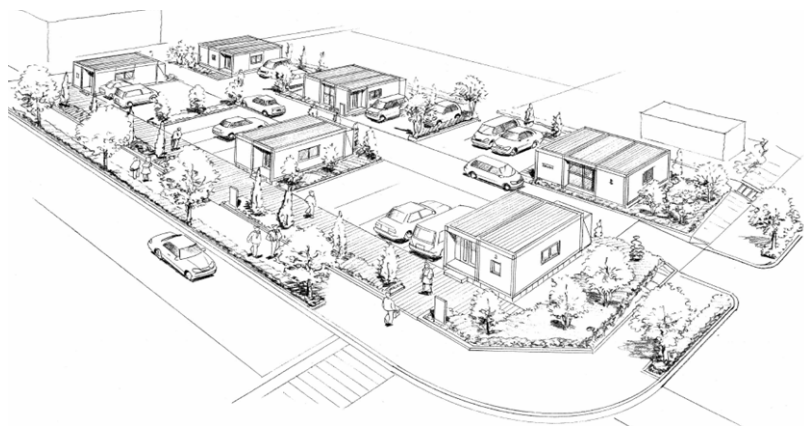


けいはんな立地施設懇談会

## (2) 学術研究機能と生産機能の一体化、産学官連携の一層の推進

### 中堅や中小企業の支援、ベンチャー企業の育成による 新産業の創出

・新技術への事業化意欲が高い中堅・中小企業やベンチャー企業に対して、技術・資金の支援、オープンラボやインキュベート施設の充実、人材育成など、施策の一層の強化



ベンチャービレッジ計画による中小企業・ベンチャー企業の立地促進

#### 中堅・中小のものづくり系企業・ベンチャー企業の進出

##### 産業系ベンチャー企業

三晶 中央研究所 (H14.8開所)  
アスク (H16.5開所)  
伸和製作所 本社工場 (H16.7開所)  
プールミッシュユ枚方研究工場 (H16.10開所)  
吉泉産業 本社工場 (開所準備中)  
高園産業 (開所準備中)  
清和光学 (開所準備中)

##### けいはんなプラザラボ棟からの 移転ベンチャー

ウエスコム  
京阪奈情報技術研究所 (H14.7開所)

##### 中堅・中小ベンチャー企業

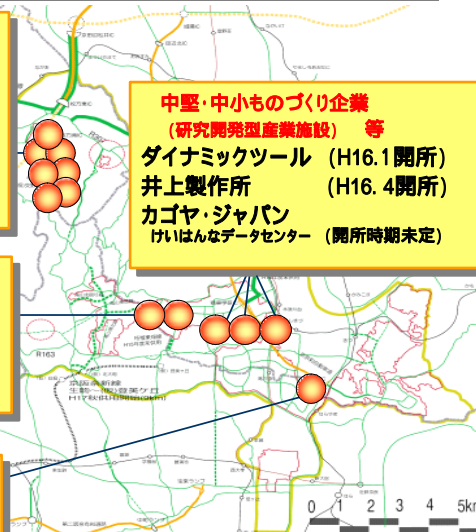
フォトン (H16.1開所)

##### 中堅・中小ベンチャー企業

大阪冷研  
ならやまR&Dセンター (H16.5開所)

##### 中堅・中小のものづくり企業 (研究開発型産業施設) 等

ダイナミックツール (H16.1開所)  
井上製作所 (H16.4開所)  
カゴヤ・ジャパン  
けいはんなデータセンター (開所時期未定)



### (3) 学研都市発の新たな文化の創造

## 文化教育機関の機能の高度化と連携の促進

- ・文化教育機関の集積を活かし、機能の高度化、施設の整備充実、各施設間の連携による一層の文化学術研究の推進
- ・平城宮跡の復元事業など、歴史・文化遺産の保存・活用
- ・独立行政法人奈良文化財研究所での文化財の保存修復等に関わる国際貢献の推進



国立国会図書館関西館



私のしごと館

提携機関	主な内容
中国社会科学院考古研究所	・日本と中国の都城の比較研究 ・唐大明宮太液池の調査研究
河南省文物考古研究所	・河南省鞏義市黄冶村に所在する唐三彩窯跡及びその生産品に関する共同研究
遼寧省文物考古研究所	・遼寧省西部の北票にあるラマトン墓地において出土した金属製品の保存処理に関する技術提供と技術指導、考古学的検討 ・日中両国の遺物の比較研究
韓国国立文化財研究所	・日本の都城並びに百濟・新羅王京の形成と発展過程に関する共同研究および生産遺跡に関する共同研究
ドンラム村農村集落保存プロジェクト	・昭和女子大学を中心とした文部科学省科学研究費補助金による研究チームの共同研究者として、主にドンラム村の集落構成及び建造物の調査を実施、保存計画を立案

奈良文化財研究所の文化財保存修復関連事業  
(海外機関との提携事業)

### (3) 学研都市発の新たな文化の創造

## デジタル文化やコンテンツ産業などの新たな産業文化の創造

- ・最先端のデジタル技術などの先端技術と、文化、芸術などの人文科学の融合を目指した研究活動の一層の推進
- ・デジタル文化やコンテンツ産業等の新たな産業文化の創造に向けた取り組みの一層の推進

#### 関西文化資産とIT技術の融合による新産業創出の研究

##### 携帯電話とあるくナリキリ歴史体験



携帯電話とあるくナリキリ歴史体験  
(知的クラスター創成事業 同志社大学)

GISを軸とした歴史情報データベースを整備して、GPS搭載の携帯電話で、ムービーを含む歴史文化資産の3D復元CGと2Dアーカイブの閲覧によって、タイムマシンで過去に遡ったような体験を提供し、今までと全く違った歴史文化の発見や産業への応用展開を図るプロジェクト

#### 大阪電通大におけるデジタルゲーム学科、メディア情報文化学科の創設



大阪電気通信大学コナミホール・先端マルチメディア合同研究所

#### 同志社大学におけるデジタルアーカイブの取り組み



同志社大学文化情報学部(工事中)

### (3) 学研都市発の新たな文化の創造

## 地域に密着した学研都市固有の生活文化の創造

- ・地域に密着した多様な文化・芸術関連事業の一層の促進
- ・けいはんな線開業に合わせた共同イベントの開催や市民・立地機関との交流事業の一層の促進
- ・外国人を含む多様な市民、研究者等の交流から生まれる新しい生活文化の創造



高山サイエンスフェスティバル



平城遷都祭

けいはんなプラザ・プチコンサート



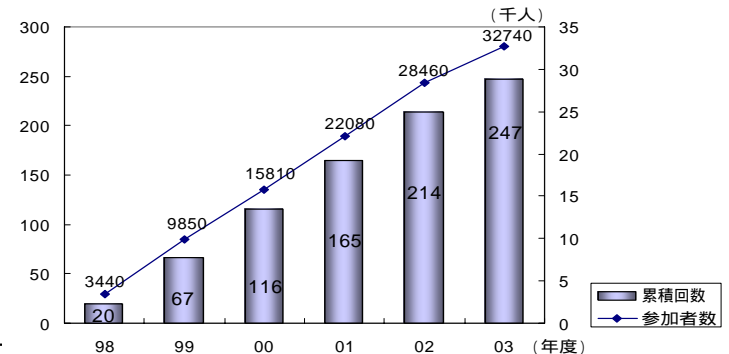
NPO法人  
舞台芸術トレーニングセンター  
「PATアトリウムコンサート」



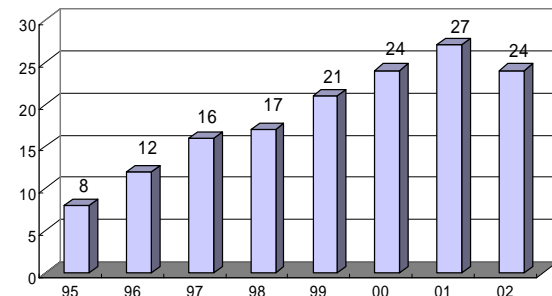
住民活動・NPO活動等の活発化



大川センター  
「CAMPワークショップ」



<けいはんなプラザ・プチコンサートの開催状況(累積)>



<けいはんなアートスペースへの出展状況>

## (4) より世界に開かれた国際的な都市への展開

### アジア地域を中心に世界各国との交流連携を目指して

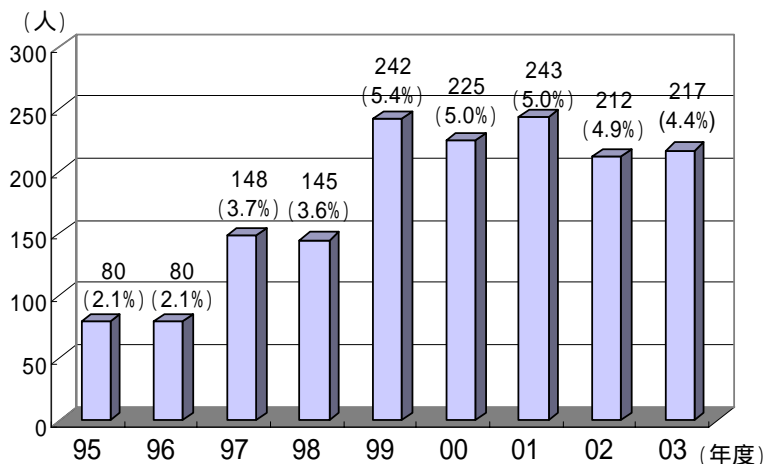
- ・学研都市は現在、北京市中関村科技園区との交流協定に向け協議中
- ・海外に向けた戦略的体制の構築

窓口一元化、共同研究・開発の促進、海外企業の誘致、投資活動の促進等、国際的な研究開発拠点としての機能を高める

- ・平成19年供用目標の関西国際空港2期事業や空港アクセス道路の整備により、学研都市と世界各国のアクセスの著しい向上

### 外国人研究者等の居住や一時滞在のための環境整備

- ・海外からの研究者などが快適に研究・生活できる都市環境の整備



学研都市の外国人研究者の推移



アジア・ビジネススクールの開催



## (5) 多彩で魅力的な創造都市の形成

### 多彩で魅力ある都市の形成

- ・不足している施設の適切な導入により、にぎわいを持った拠点地区を形成
- ・高水準な文化性、快適性、利便性を備え、景観に配慮した質の高い居住環境の形成
- ・最先端の文化学術研究に身近に接しつつ、自然環境や農村環境に親しめるライフスタイルの実現
- ・良好で風格ある沿道景観の形成に一層努め、未利用地の修景緑化の工夫
- ・市街地隣接地域では里山環境の保全、自然環境との共生を目指す



ゆとりと風格ある  
木津川台住宅地



自然地形保全型住宅地の例  
(奈良青山ニュータウン)



資材小屋づくり



竹炭づくり

畑づくり



畑作業風景



サツマイモの種付け

### 木津南里山再生プロジェクト



森の工作館・森の宝島・けいはんな公園(観月の夕べ)

## (5) 多彩で魅力的な創造都市の形成

### パイロット・モデル都市の展開

- ・安全、環境、少子高齢化等の都市活動における課題の解決に向けた実践的な取り組み
- ・ITS、ロボット、ユビキタス、医療福祉などの社会実験等、新産業の創出に向けた TESTING フィールドとしての活用



社会実験の事例：  
ロボット公道実験(福岡市、北九州市)

## (5) 多彩で魅力的な創造都市の形成

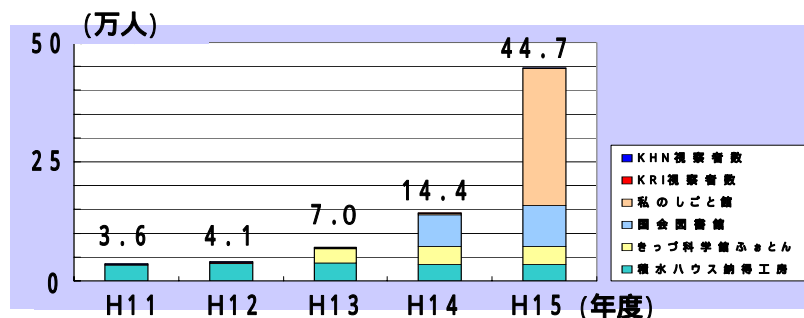
### 「体験し学ぶ新たな観光」の推進

- ・平城宮跡や私のしごと館などの体験型学習施設、視察可能な大学、研究機関等の集積
- ・来街者の増加、けいはんな線の開業



- ・観光ルートの設定、サイン計画等の整備による都市の賑わいの創出や地域の魅力づくりの推進

#### 来街者の推移



平城宮跡

#### 私のしごと館



職業体験  
の様子

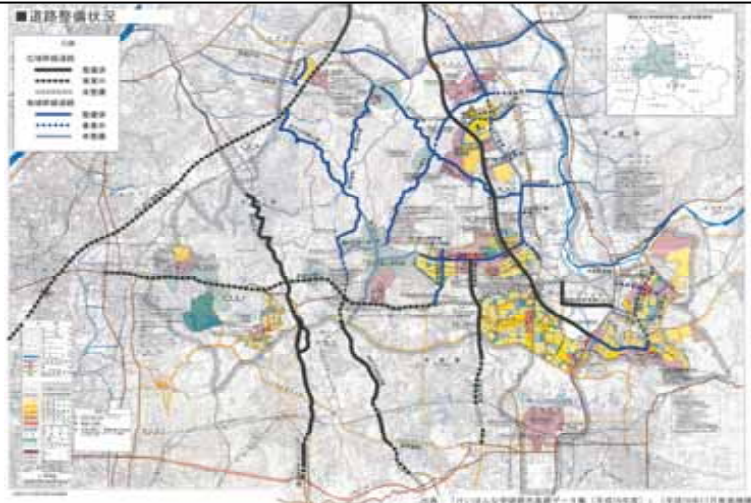
## (6) 学研都市の活動を支える基盤整備のスピードアップ

### クラスター(地区)の整備促進など

- ・事業実施中の地区について、自然環境や農村環境と調和を図りながら、早期形成のための土地利用のあり方を検討し、整備を促進
- ・高山地区とセンター地区である精華・西木津地区との一体的な都市形成
- ・事業化していないクラスター(地区)は社会経済情勢やニーズを勘案し、今後のあり方を検討

### クラスター(地区)の特徴に応じた低未利用地の有効活用

- ・クラスター(地区)内のゾーン毎に、土地利用の考え方を再整理し、新たな立地施設の誘導や住宅整備など、土地の有効活用を図る。
- ・低未利用地を暫定的な利用(イベントや運動施設への活用など)の検討



クラスター(ゾーン)開発と都市内道路の整備状況



< 事業中のクラスター(ゾーン)開発の促進 >

## (6) 学研都市の活動を支える基盤整備のスピードアップ

### 関西国際空港などへアクセスする道路、クラスター(地区)間を連絡する道路の早期整備

- ・学研都市から国土軸や関西国際空港などへアクセスする道路の整備促進
- ・クラスター(地区)開発に先行した道路の早期整備や代替道路の整備方策も検討し、学研都市全体の機能の向上



第二京阪道路一部開通



国道163号(学研都市連絡道路)



## (6) 学研都市の活動を支える基盤整備のスピードアップ

### 鉄道やバスの輸送力の強化及び、利便性向上

- ・鉄道の複線化など輸送力の強化、駅の結節点の整備等の促進。
- ・平成18年3月のけいはんな線の開通に伴う、新駅へのアクセス性の向上を図る。



けいはんな線の開業(平成18年3月)



けいはんな線白庭高架橋工事



近鉄三山木駅付近高架工事(H17年秋完成予定)



祝園駅西区画整理事業(H17年度未完了予定)

## (7) 本格的な都市活動を支える「都市の運営」の展開

引き続き「都市の建設」を進めるとともに、これからは「都市の運営」に重点を置いた取組みが必要

### 高度な都市の運営に対する大学や専門家を中心とした アドバイザー体制の確立

- ・(株)けいはんなに都市運営の戦略に関する提言、指導、活動状況の評価等を行うアドバイザー体制の確立

### 近畿圏全体で学研都市の運営を支える体制の確立

- ・(財)関西文化学術研究都市推進機構内に、国、3府県、6市2町、(社)関西経済連合会、大学、独立行政法人都市再生機構、立地機関、市民等が参画し、学研都市の建設、運営に関する企画立案等を審議する仕組みづくりの検討
- ・広域的な施策や地域行政的課題について、国の協力を得ながら3府県などの行政機関で構成される新たな委員会などの体制確立



# サード・ステージ・プランの早期策定

本提言を踏まえ、国はサード・ステージ・プランを早期に策定すること

サード・ステージプランの策定にあたっては、提言の示す「これからの学研都市の取り組みの方向性」を実現するため、関係自治体などの参画も得て、今後10年間程度を目標とした具体的な施策や、各施策の実施主体、役割分担を明確にすること。

プランの実効性を確保するため、計画推進のための仕組みや体制づくりについて、具体的に検討をすること。